
グランドソフトボール～夏の大会編～

岡崎 朱羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

グランドソフトボール〜夏の大会編〜

【Nコード】

N3639N

【作者名】

岡崎 朱羽

【あらすじ】

視覚障害者のスポーツ、グランドソフトボールを題材として書いてみました。

性転換要素を少し含みます。

これは、僕の夏の思い出なんだ。

8月18日

この日は野球部の合宿が終わり、いよいよ岡山で行われる全国大会の前泊をする日だ。

「ふう、やっと着いた」僕はこの東海選抜に選ばれなかったが応援には行くことにした。

岡山駅に着き迷うこと10分でホテルへと着いた。

「西条 真琴さまですね？」受付を済ませ808号室へと行く。

部屋で荷物を降ろし身軽になる。ここで夕食の買い出しに行く。

夕食を済ませシャワーを浴びる。そしてあらかじめ買っておいた有利チャンネルのカードを差し込む。チャンネルを設定してガンミする。しばらくすると自分もムズムズして下半身へと手を伸ばす。あれから10分後僕はイってしまった。仕方なくまたシャワーを浴びる。それからすぐ寝てしまった。

8月19日

いよいよ大会当時。時刻は8時20分。やっと目を覚ます。

結局のところシャトルバスには乗れず、タクシーで行くことに…。

「あんだあの大会の見物かい？」

「ええ。先輩が出るので」

「そうかい。暑いから気を付けなよ。熱中症は怖いからね。それに日焼け止めはあるのかい？」

「勿論。」「そうかい。せつかくの白い肌が台無しなるからしっかりと塗つときの嬢ちゃん」

「はい。あ、ここで」

「はいよ。障害者割引ね…まけとくよ2000円だ。はいよ確かに…気を付けるんだよ」

タクシーを降りて運転手の言葉を思い出す。『嬢ちゃん』か…。確かに自分は女の子なわけで…。

とにもかくにも僕が会場に着いた時にはもう試合は始まっていた。順調だった。このグラウンドソフトボールは時間制で80分を越えようと次の回にはいかないのだ。故に一試合あたり三、四回で終わる。この試合は結果からすると13 - 6で勝った。野球をする彼らを見て僕は羨ましかった。病気で性別が変わった。決して運動できないわけではないただ日焼けした女の子はあまり好かれない。僕と同じ病気の人は紫外線に弱いらしい。一説によればより女性として美しくいるには日焼けをしないことが関係しているらしい。だから彼らが羨ましいんだ。

それから二試合目も勝ち今日は終わった。

ホテルへと向かう途中話しかけられた。

「真琴。」振り向くとかつての友人がいた。

「同じホテルなんだってね。しかも隣。偶然かしら？」彼女は三上

ひな。かつての同級生である。

「あんた高等部卒業して浜松にいるんだっけ？」

「そうだよ」

「彼氏できた？」

「かかか彼氏！？」

「まだそんなことで驚くの？あんたもう女の子なんだよ。」

「でもひなちゃんみたいに純粋な女の子じゃないから…」

「自分のかわいさを自覚してないのね。それでいてエッチなんだから…」それだけ言うと彼女は部屋から出ていった。

結局その日は考えるのをやめた。

8時20日

今日で優勝が決まる。実は我がチームには病気で出れなくなった先輩がいた。彼は三年生で最後に出れないことを悔しがっていた。そんな彼の想いを胸に選手たちは戦った。

いよいよ決勝戦。実は相手は僕が卒業した筑波の学校だった。筑波大学附属視覚特別支援学校は強い。兄さんや俊くんなどといったかつての仲間がいた。

強い。辰巳先輩はピッチャーですっと投げている。その珠に東海選抜はアウトをとられていった。結果からいうと負けた。しかし皆よく戦った。自慢のチームだと思う。後輩が来年は絶対に勝つと言っていた。彼の言葉がとても心強かった。もしかして僕は…。

今までの中で一番忘れられない夏となった。日焼け止めを塗っていたが少し焼けてヒリヒリしたがこれもありかなと思った。僕はサポートすればいいんだ。皆を。後にキャプテンから皆を支えてくれとメールがいていた。僕は一言「勿論です」と返信した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3639n/>

グランドソフトボール～夏の大会編～

2010年10月9日21時04分発行